



台風15号による本町でのパイプハウスの被害（豊間根地区）
今年台風の当たり年で、他県での被害はとて深刻な状況です。



小林 隆議員

農林対策

松くい虫の防止対策は

県と連携し予防に全力をつくす

質問

近年森林の持つ多面的機能の低下が危惧されると同時に、森林の果たす役割が見直されている。ついでに、次の点を問う。

①岩手県の松くい虫の被害と今後の防止対策は。

②台風15号、16号の被害状況は。

沼崎町長

①平成十五年度の被害地域は、七市十三町三村で南から被害が広がっており内陸部では紫波町まで、沿岸部では大船渡市までとなっている。

県の防止対策は、防除推進員、防除監視員を置き各種対策を実施している。本町では被害が出ていないが、振興局林務部と連携して雪害による松の枯損木処理及び間伐促進を図り、誘引器を増やし予防対策に当たっている。

②農業関係の被害は、台風15号では、パイプハウスのビニール被害などで

町の考えを聞く

防災計画

地域防災計画の見直しの骨子は 災害弱者の避難対策など整備

七十七万円、農作物の被害は三百十万円。台風16号の被害については、りんごの落果などで四十

六万円となっている。林業関係は林道で一部倒木があったが、大きな被害はない。

質問

地域防災計画の総合的な見直しの骨子は。

沼崎町長 地域防災計画は、諸情勢の変化に合わせてながら、随時、点検・整備してきた。

また、平成十六年四月に「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が公布されたことにより、地震防災上緊急に整備すべき事項などを定めなければならぬ。これらをふまえ、現時点

での骨子は、

①一人暮らし老人、寝たきり老人、身体障害者などの避難対策

②津波警報などに伴う避難勧告の方法

③「地域ごとの津波避難計画」の策定

④防災意識の向上と自主防災組織の拡大

⑤消防防災施設・設備の充実

である。今後、関係機関・団体と協議して進めていく。